

第6学年1組 道徳科指導案

1 主 題 名 進んで社会の役に立つ C 勤労・公共の精神

2 主題設定の理由

(1) 価値観

人々の支え合いで成り立つ社会を理解し、公共のために役に立とうとしているか自分を見つめる。また、「勤労・社会奉仕」がさまざまな思いによって支えられていることについて考える。進んで社会に奉仕し、公共のために役に立とうとする意識を高める。

(2) 児童観

本学級の児童は、係や委員会など、自分たちで企画して、活動をしたいと考えている児童が多い。年度当初は、言われたこと、指示されたことだけに取り組む児童もいたが、最高学年としての意識からか、自主的・主体的に活動したいと願っている児童が増えてきた。

しかし一方で、自分たちが企画し、話し合ったことにもかかわらず、企画書を提出しなかったり、前向きに仲間と協力して行動できなかつたりして、迷惑をかけてしまうこともある。目の前の面白いことや楽なことに流され、企画したこと自体を忘れてしまうこともある。

「働く」ことは、その場、その時の思いつきで簡単に始めたり、やめたりすることではない。「働く」ことには、いろいろな人の思いや支えがあり、また、それによって成り立っているものだと考えさせたい。

(3) 教材観

震災でがれきに埋め尽くされた大船渡の海。サーモンスイムを主催する佐藤寛志さんは、美しい海を取り戻すため、ボランティアで仲間とともに、がれきの撤去作業を始めた。地元の漁師たちは、元来、ダイバーを快く思っていなかったが、佐藤さんたちの真摯な働きぶりに心を開き、ダイバーと漁師たちは、力を合わせて、がれきを撤去した。そしてだんだんと、大船渡の海が元の美しい姿を取り戻していく。

これまで、たくさんの困難があったにもかかわらず、がれきの撤去作業をやめずに、仲間とともに続けてきた、佐藤さんの思いについて話し合うことで、「働く」ことの意義を多面的、多角的に考えさせたい。

3 本時のねらい

- 大船渡の海のがれきの撤去作業を行う、佐藤寛志さんの思いについて話し合うことを通して、働くことの良さに気づき、進んで公共のために、役に立とうとする実践意欲と態度を育てる。

4 準備・教材

- 中心教材名「青い海を取りもどせ」 出典「小学 道徳6」（教育出版）
- 教師…教科書の場面絵、板書カード、ワークシート、コミュニティーボール
- 児童…タブレット端末（心情メーター）

5 関 連

5年道徳 「横浜港のガンマンの思い」（みんなのために働く）

6 学習指導過程

段階	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項
方 向 付 け	1 「働く」とはどういうことかを考える。		○ 始業前にゲストティーチャーの紹介をする。 ○ ペアで意見交換し、その後全体で確認する。
	なんで人は「働く」のでしょうか。		
	・人を助けるから ・お金を稼げるから ・感謝してもらうため ・自分が嬉しい		○ 事前にワークシートへ自分の考えを記入させておく。
	社会の役に立つ仕事は、どんなものがありますか。		
	・漁師 ・美容師 ・医者 ・警察官 ・教師 ・役場の人 ・スポーツ選手	3	○ コミュニティーボールを回し、発言者を決める。発言したら、近くの児童に渡すように伝える。

価値の追求・把握	2 本時のめあてを考える。	○めあての板書カードを貼って確認する。	
	すすんで社会のために「働く」ことの大切さを考えましょう。		
	3 「青い海を取り戻せ」読んで話し合う。 (1) 登場人物と内容について確認する。 ・佐藤さんががれきの撤去をしている。 ・サーモンスイムのツアーを主催。 ・大きなごみやヘドロで作業が困難。	13	○範読後、場面絵を使って、児童のつぶやきをつなげながら内容を確認していく。 ○事前にサーモンスイムの様子やがれきの様子、佐藤さんの活動をまとめた動画を見せておき、活動を想像しやすいようにしておく。
	佐藤さんは、どんなことを思いながらがれきの撤去作業を始めたのでしょうか。		
	・必ずきれいな海に戻してみせる。 ・サケが戻ってきて、サーモンスイムができるといい。 ・お客さんが増えたら、収入も増える。	18	○活動し始めの頃は海をきれいにしたい一心だったことや、漁師の人達からの反対にあうかもしれないという、少しの不安を抱えていた気持ちにふれる。
	佐藤さんは、困難があっても、何のために活動を続けるのでしょうか。		
	・作業は大変だし、漁師の方からは良く思われていないけど、一度始めたからには、きれいな海を取り戻すために最後までやりきる。 ・協力してくれる仲間ができたんだから、ここでやめてしまったら申し訳ないから、仲間のためにがんばる。 ・海をきれいにするのは自分の使命だと思うから、自分のために続ける。 ・未来の子ども達に、きれいな海のままで残していきたい。 ・きれいにすると魚が戻ってきて、漁師も助かる。	30	○思考ツールを使い、「何のために働くのか」について見える化して板書する。 ○ワークシートに記入するように指示する。 ○ 心情メーターを使い、「自分のため」に働くのか、「それ以外のため」に働くのか、立場を意識して発表させる。 ○「きれいな海を取り戻すため」や「仲間のため」という意見も、結局は「自分のため」につながるということについて触れ、勤労と公共の精神との違いを意識させる。 ○ 児童の発表後ゲストティーチャーに、佐藤さんは何のために活動を続けているのか意見を聞く。
	一緒に作業をしている仲間のダイバーや地元漁師はどんなことを思っているのでしょうか。		
	・佐藤さんの考えには共感する。だが一人できれいな海を取り戻したと思わないでほしい。 ・初めにダイバーは密漁者なんて言うてごめん。 ・これからはともに大船渡の海を守っていこう。 ・いつまで続けるのだろう。 ・正直、賛成できないところもある。	35	○多角的な考えができるように、仲間のダイバーや漁師の思いや考えにも触れ、佐藤さんの活動に賛同していない意見にも触れ、必要に応じて役割演技させる。 ○ 心情メーターを使い、佐藤さんの活動に「賛同している」のか「賛同していない」のか、考えを示させ、賛同していない人がいても、それでも活動をやめない理由を考えさせる。 ○賛同してくれない人がいるが、喜んでくれる人が多いという事実を確認する。
	なぜ、すすんで社会のために「働く」と、良いのでしょうか。		
・自分の生きがいになって、人生が充実する。 ・自分が頑張ることで、いろいろな人を幸せにすることができる。 ・お金を稼ぐことで、家族を養い、豊かに生活することができる。	38	○「働く」ことで、自分や自分以外の人「喜び」が生まれることや、一方で自分に責任がかかることや苦労があることを押さえる。 ○「働く」ことが、「自分のため」だけでなく、「自分以外のため」という公共の精神について考えた意見を取り上げる。	
4 今日の授業で学んだことや考えたことをノートに書く。			
「働く」ことに対する自分の考えをまとめましょう。			

価値の自覚	① 「働く」ことが、人生の生きがいになると初めて知った。	43	○ 振り返りの考える観点として①「新しく知ったこと」②「自分の考えで弱いなあと感じるところ」③「まだモヤモヤしていること」④「友達の意見で、はっとしたこと」⑤「これからの人生に生かせそうなこと」の中から一つを選択して、書くように伝える。 評「働く」ことの良さや大切さを考え、自分も社会や他の人のために役に立とうと考えている。(ワークシート、話し合い、発表)
	② 自分は将来、こんな仕事をしたいとはっきりしていないけど、人のために働きたいと思った。		
まとめ	③ 「働く」ことがお金を稼ぐための手段という意見に、まだモヤモヤする。	45	○ 仕事をしていて、うまくいかなかったことや、大変だったことの経験談も扱い、余韻をもって終わる。
	④ ○○君の「自分ががんばることで他の人の幸せが大きくなる」という意見にはっとした。		
	⑤ これから自分ができる仕事を見つけて、他の人のために働いていきたい。		
	5 ゲストティーチャーの説話を聞く。		

7 本時の評価

- 主人公の佐藤寛志さんの思いについて議論することを通して、働くことの良さや大切さを考え、進んで社会や他の人のために、役立とうとする思いをもつことができる。
(ワークシート、話し合い、発表)

8 備考

(1) 指導の力点

<p>〈考え、議論する道徳の授業づくり〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 佐藤さんが活動していく中で、困難にあいながらも続けられた思いは、「自分のため」なのか「人のため」なのか、また「自然を取り戻すため」なのかなど、深く具体的に掘り下げて考えられるよう、補助発問や板書をする。 ・ 児童の意見だけではなく、多角的な価値の捉え方ができるようにゲストティーチャーを招き、ポイントとなる発問で意見を聞く。 ・ 発問に対して考えにくい場合は、ペアやグループでの話し合いを取り入れ、議論を活発化させる。また、児童の考えを全体に示したり、共感させたりするために、タブレット端末にて「心情メーター」を活用する。
--

(2) 板書計画

第14回【青い海を取りもどせ】

めあて **なぜ、すすんで社会のために「働く」ことが良いのだろう。**

心のつぶやき(1)「なんで人は働くのでしょうか」

- お金をかせぐため ○ 感謝してもらうため ○ 人を助けるため
- 自分も相手もうれしくなるため ○ しょうがないから
- 法律で決まっているから

仕事 漁師、美容師、先生、医者、店員、警察官、スポーツ選手



がれきの撤去
ヘドロ 大変
漁師の反対



ダイビング
サーモンスイム
きれいな海に



ダイバーの仲間
漁師たちとの新しいきずな
元の海を取り戻した

